

第 1 0 回教育委員会（定）

開会日時 令和 6 年 5 月 8 日（水） 午前 1 0 時 0 0 分
閉会日時 午前 1 0 時 3 5 分
開会場所 教育支援センター

出席者

教 育 長	中 川 修 一
委 員	高 野 佐紀子
委 員	青 木 義 男
委 員	長 沼 豊
委 員	野 田 義 博

出席事務局職員

事 務 局 次 長	林 栄 喜	地域教育力担当部長	雨 谷 周 治
教育総務課長	諸 橋 達 昭	学 務 課 長	金 子 和 也
指 導 室 長	富 田 和 己	新しい学校づくり課長	柏 田 真
学校配置調整担当課長	早 川 和 宏	施設整備担当副参事	彼 島 勲
生涯学習課長	太 田 弘 晃	地域教育力推進課長	高 木 翔 平
教育支援センター所長	石 野 良 恵	中央図書館長	松 崎 英 司

署名委員

教育長

委 員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 おはようございます。本日は4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しております。

それでは、ただいまから令和6年第10回の教育委員会を開催いたします。

本日の会議に出席する職員は、林次長、雨谷地域教育力担当部長、諸橋教育総務課長事務取扱、参事、金子学務課長、富田指導室長、柏田新しい学校づくり課長、早川学校配置調整担当課長、彼島施設整備担当副参事、太田生涯学習課長、高木地域教育力推進課長、石野教育支援センター所長、松崎中央図書館長、以上12名でございます。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により野田委員にお願いいたします。

本日の委員会は2名から傍聴の申し出がなされており、会議規則第30条により許可しましたのでお知らせいたします。

○報告事項

1. 令和5年度中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告

(生－1・生涯学習課)

教 育 長 それでは報告事項を聴取します。「令和5年度中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告」について、生涯学習課長から報告願います。

生涯学習課長 よろしくお願いたします。「生－1」をご覧ください。

令和5年度中高生勉強会「学びiプレイス」の実施報告でございます。

1の実施期間でございます。

令和5年4月11日から令和6年3月8日まででございます。

2の日時・会場・実施回数・参加状況につきましては記載のとおりでございます。

登録者数と延参加者数でございますが、延参加者数につきましては1,399人で、令和4年度と比較いたしますと100名ほど減っているというような状況でございます。

令和4年度まで、仲良しグループ五、六名が高島平図書館にほぼ毎週通っていたという形がございましたが、令和4年度末で仲良しグループの五、六名が高校を卒業したため、令和5年度につきましては、このグループの利用がなくなったことで、前年度と比較いたしまして減少したという形の分析をしているところでございます。

また、登録者数も前年度と比較して落ちているというような状況でございますが、先ほどお話しいたしましたグループの利用がなくなっても利用者数の方は大きく落ち込んでいないといったことで、継続利用者が増えているというふうに分析をしているところでございます。

3でございます。学年別の参加状況でございます。

こちらの方につきましては記載のとおりでございます。毎年度会場ごとにばら

つきがある状況となっているところでございます。

続きまして、次のページをご覧くださいまして、4、受託事業者と5、委託料につきましては記載のとおりでございます。

6、実施状況及び内容でございますが、実施状況につきましては先ほど2で申し上げました内容を前段に書かせていただいているところでございます。登録者数や延参加者数の説明につきましては、先ほど申し上げましたので省略をさせていただきます。

次に内容でございます。

(1) 学習支援でございます。

参加者が持参する教材を使い、個々の状況に応じて学習をサポートする寄り添い型の支援を行ったところでございます。普段は、学校の宿題や課題に取り組む生徒が多く、定期試験の前には、試験に向け学習に集中する様子が多く見られたところでございます。

令和4年度の参加者のアンケートの要望に応じまして、事業内でWi-Fi環境の方を整備いたしまして、オンラインの教材や学校からの課題にも取り組めるような形で令和5年度は改善したところでございます。

また、9年生、高校3年生につきましては、個々の希望に応じまして試験対策に集中的に取り組んだところでございます。一部事例を1、2でお示しをしておりますところでございます。

内容につきましては、事例の1番、都立高校の入試対策、事例の2が大学入試対策というところでございます。内容につきましては、記載のとおりでございます。

(2) 居場所の提供でございます。

本事業は、中高生と年齢の近い大学生などのボランティアや事業者スタッフが支援者となりまして、参加者にとって話しやすい雰囲気や関係性が醸成され、ボランティアやスタッフとの会話を楽しみに継続参加する子どもたちの様子も見られたところでございます。

信頼関係が築かれている中で、学習面では、勉強の仕方や進路に関しまして相談を受けることが多く、支援者が話を聞いた上で、一緒に考えながら、提案や情報提供を行うなどして対応していったところでございます。

参加者の中には、学校生活や家庭環境に起因して、困り事やストレスを抱えている中高生もおりまして、いつでも話ができる場として参加者に寄り添うよう支援に努めたところでございます。

また、参加者と支援者、参加者同士の交流を通して、心地のよい居場所となるよう、交流機会といたしまして適時イベントの方を実施したところでございます。

イベントの事例につきましては、①といたしまして、ボードゲームのイベント、②といたしまして、ものづくりイベントの実施がございました。内容は記載のとおりでございます。

続きまして(3)でございます。キャリア支援でございます。

令和5年度につきましては、キャリア支援に力を入れてまいりまして、参加者

が自身の将来のことや進路を考えるきっかけとなる取組を積極的に行ったところ
でございます。

各実施会場につきましては、隔月で「まなプレインタビュー」を発行・配付し
たところでございます。身近なロールモデルである支援者の進路選択の経験や中
高生時代の勉強への取組、大学で専門としている分野や現在の仕事のことなどに
つきまして、インタビュー形式の文面としておりまして、今後の進路を考える一
助としたところでございます。

次のページに行っていただきまして、また、「ポスタープレゼンキャリアイベ
ント」を実施いたしまして、「まなプレインタビュー」と同様に支援者の経験な
どをポスター形式で作成をいたしまして、会場内に掲示することで、その内容を
きっかけに、参加者が気軽に質問するなど、交流をしながら支援者の経験談など
を聞く様子が見られたところでございます。

これに加えまして、区内大学や区外の企業の協力をいただき、見学会や体験会
をしたところでございまして、こちらを通しまして学ぶキャリアイベントの方を
実施したところでございます。その様子につきましては、事例1、大東文化大学
の見学ツアー、事例2、アクセンチュアのオフィスツアーといった形でございま
す。内容につきましては、記載のとおりでございます。

次のページ以降、参加者に対しましてアンケートを行ってございます。

アンケートにつきましては、令和6年の2月から3月にかけてまして、各会場で
実施したところでございます。

(2) 回答者でございます。

こちらの方、記載のとおりでございまして、区立中学校が65%、私立中学校
が9%、都立高校がいらっしゃらず、私立高校が13%といったような形になっ
ているところでございます。

(3) 回答結果でございます。

①本事業を知ったきっかけでございますが、「家族が教えてくれた」というも
のと「友だちが教えてくれた」というものが多くなってございます。

②参加動機でございます。「勉強ができる場所がほしい」、「学校のテストの
ための勉強がしたい」といったところが多くなってございます。

次のページをご覧くださいまして③でございます。本事業への参加歴でござい
まして、1年目が35%、2年目が44%、3年目が13%といったような形に
なっているところでございます。

④参加の頻度といったところでございますが、「ほぼ毎週」とお答えいただい
た方が75%、「月に1～2回」というときが12%、「試験の時だけ」という
ところが13%というような結果になってございます。

⑤継続参加の理由でございます。多いところが「勉強ができる（教えてもらえ
る）」といったものが多いといったところと、「スタッフやボランティアさんと
会える・話せる」、「通いやすい場所」といったようなご意見をいただいている
ところでございます。

⑥主に学習をしている科目といったところでございますが、数学、英語、理科

といったところが多くなっているというような状況でございます。

⑦主に学習している教材というところでございますが、「学校のワークブックやプリント」といったところが42%、自分で持ってこられた「参考書や問題集」といったところは26%、「学校の宿題」といったところは24%というところになっております。

次のページをご覧くださいければと存じます。

⑧勉強面での変化でございます。多いところでいきますと、「勉強でわかるところが増えた」といったところや「自宅で勉強する時間が増えた」、また「一人で勉強しているよりも勉強が楽しく（好きに）なった」というようなお答えをいただいているところがございます。

⑨勉強面以外の変化というところでございますが、「いろいろな人の話を聴いたり、話したりするようになった」というものや、「自分の居場所が増えたというふうに感じるようになった」というようなお答えをいただいております。

⑩本事業への評価でございますが、「とてもよかった」が87%、「よかった」が13%といった形で、100%の方が「よかった」以上となっているというようなところがございます。

⑪の評価の理由でございます。多いところで申し上げますと、「勉強面のサポート」が26%、「会場への通いやすさ」が26%、「スタッフやボランティアとの会話や対応」といったところが23%、「曜日や時間帯」というところが23%というようなところになってございます。

次のページをご覧ください。

⑫事業に対する要望です。「特にない」が一番多くなっておりますが、「土日にもやってほしい」、「イベントをやってほしい」というような内容になっているところがございます。「土日にもやってほしい」につきましては、令和6年度から土曜日にグリーンカレッジホールで取組を始めたところがございます。

⑬支援者（スタッフ・ボランティア）についてといったところがございますが、「いつも優しく接してくれた」というところが一番多くなっておりますが、次が「勉強をわかりやすく教えてくれた」、「話をよく聴いてくれた」というところがございます。

⑭につきましては、自由意見を一部抜粋でそのまま抜かせていただいておりますので、後ほどご覧をいただければというふうに思っているところがございます。

雑駁でございますが、説明は以上でございます。

教 育 長 ありがとうございます。質疑、意見等ございましたらご発言ください。

高 野 委 員 大変好評でよかったと思います。

特にキャリア支援のところで大学を見学したり、企業と一緒にアクセンチュアオフィスツアーですか、これは普通の学校からはなかなかできない経験を学プレを通して経験することができて大変よかったと思います。

登録の人数なのですが、高島平が減ったことの原因は分かりました。登録者の推移というところ、一番最初のページで見ると、5年度は8月ぐらいからずっと伸びが止まっていて、4年度は後半だんだん増えていくというところが見られたのですが、やはりこの事業の周知が大切だなというふうに思いました。

以前身近な教育委員会でご紹介をしたら、同じグループの保護者の方はどなたもご存じじゃなくて、そのような素晴らしいものがあるんだったら、ぜひ参加させたい、利用したいとおっしゃっていました。ぜひ周知の方をもう少し広げていただければと思いますので、4月に1回やるだけではなくて、夏休みや冬休みの前など機会を見て周知していただくと、子どもたちの利用も増えていくのかなというふうに思いました。

あと最後に、土曜日の利用ということで、6年度からグリーンカレッジホールというお話だったのですが、今までの5か所に加えてグリーンカレッジホールでもということなのでしょうか。そこを詳しく教えてください。

生涯学習課長 まず1点目の大学の見学や企業さんのご協力をいただいた体験のツアーでございますが、かなり参加者から好評をいただいているところでございまして、2ページ目の（1）の学習支援の①の事例1をご覧くださいければと思うのですが、こちらの方を取り組んでいただいたお子さんですが、大学に見学に行ってから猛烈に勉強して受験に合格されたというようなお話もいただいておりますので、このようなイベントも役に立ったのかなというふうに思っているところでございます。

それから2点目でございます。登録者の推移といったところでなかなか伸びなかったというようなご指摘をいただいたところでございまして、周知のところでございますが、令和5年度に行った周知につきましては教育広報ですとか、ホームページ、あとチラシの方を作成いたしまして配らせていただいたのと、教育チャンネルに載せさせていただいたこと、また学校支援設置本部のコーディネーターの連絡会に行かせていただいてアナウンスをさせていただいたり、志村地域に限定になってしまいますがコミュニティ・スクールの方でも周知をさせていただいたというような取組をしてございます。ただ、まだ伸び悩んでいるところもございまして、今後の周知方法につきましては考えていきたいというふうに考えているところでございます。

3点目の土曜日のグリーンカレッジホールでございますが、今まで令和5年度まで5か所でやってございましたが、土日の利用がしたいというようなご意見をいただきましたので、令和6年度から予算を獲得させていただきまして、グリーンカレッジホールに新たにもう1か所追加をさせていただいてというようなところになってございます。まだ実績報告の方が挙がってきてございませぬので、また後日、グリーンカレッジホールの実績につきましてはご報告をさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

教 育 長 よろしいですか。その他ございますか。

長 沼 委 員 この事業は中高生の勉強会ということで、勉強するということの意味とか意義もあるのですが、居場所としての意味がとてもあると感じていて、着々と成果を上げておられると思いました。

大学生とか事業者のスタッフが支援者になってくださっていると思うのですが、その方々の質もとても重要だと思うのですね。困難を抱えているお子さんも参加していますので。そこで、支援者の質についてこの事業者さんが把握されているのか、教育委員会でも関わって質的向上を図っていらっしゃるのか。その辺り、いかがでしょうか。

生涯学習課長 大学生、支援者の質でございますが、研修等を実施させていただいてございます。

長 沼 委 員 教育委員会が実施しているのですか。

生涯学習課長 失礼いたしました。事業者の方で研修会やっただいてございまして、そのようところで質を確保しているというところでございます。

教 育 長 各場所で何人ぐらいいるのか。

生涯学習課長 ボランティアさんは、大体二、三名はついていただいてやらせていただいております。もし足りない場合には、事業者の支援者の方に出ていただいてというような形でございます。

教 育 長 スタッフとボランティアって分けてあるのですが、ボランティアは有償なのか、無償なのか。

生涯学習課長 基本的に来ていただいているボランティアさんについては無償でご対応いただいているところございまして、人数を確保できなくてといった形になりまして、初めてお金の方をお支払いして来ていただいているというようところでございます。

教 育 長 それはどのくらい払っていますか。

生涯学習課長 割合的にはかなりボランティアに来ていただいておりますので、本当に足りないところで支援者の方に入っているというようなイメージでございます。

教 育 長 時給どのぐらい分かかりますか。

生涯学習課長 申し訳ございません。時給につきましては事業者の情報になりますので。

教 育 長 そうすると全くお金のかからないボランティアの参加もあるということなのですか。

生涯学習課長 基本的にはボランティアさんは無償で来ていただいているというのが大きなところでございます。

教 育 長 その他、いかがですか。

野 田 委 員 ご説明ありがとうございます。

昨年度から色々と周知も含めて準備等もされた結果が年度にわたって成果が得られたと思います。ありがとうございました。

私もボランティアの方のことについてお聞きしたいのですが、やはり基本的には事業者の委託の事業になっておりますので、事業者主体になっているかと思うのですが、今のお話をお聞きしていると、学習支援をされている方は主体的になっているのがボランティアの方になっているというような状況なのですか。

要するに、事業者のボランティアの方がいなければ事業者の方が支援しているということということは、基本的には事業者の方が主体的に学習支援とかに回っているのではなくて、ボランティアで来てくださった方は主体的に学習支援をされているということなのでしょうか。

生涯学習課長 おっしゃるとおりでございまして、ボランティアさんに主にやっていただいております、ボランティアさんが足りないときに支援者を集めてきてというようなイメージでございます。

野 田 委 員 そうしますと、この委託の業者さんというのは、基本的には居場所づくりが主体で、勉強を目的として来られた方じゃない方のお話し相手だとか、そういうことを中心にするような事業なのですか。

生涯学習課長 基本的には、事業者につきましては会場の責任者といったところをお願いしてございまして、悩み事の相談とかも結構ボランティアさんにしていただいて、若い年代の方同士でというようなイメージが多くございます。

野 田 委 員 そうなると、この事業としては事業者さんというよりはボランティアの方たちをいかにどのような方たちを集めるかとか、様々な性質を持った方、長沼委員がおっしゃられるように質の問題になってくると思うのですが、このような方はどのようにして集めるというか、協力を得ているのですか。企業さんが何か募集をかけているということなのですか。

生涯学習課長 基本的には事業者の方に募集も含めて全てお任せをしているような状況でござ

います。

野 田 委 員 その中で学習指導ができるような方に声をかけていくというような形で募集されているのですか。

生涯学習課長 基本的には大学生を中心にボランティアを募らせていただいておりますので、大学生が高校生、中学生を教えるというようなイメージでやっている事業でございます。

野 田 委 員 分かりました。やはり参加者に対する周知もそうなのですが、ボランティアの方たちというところがメインになるのかなと思うので、そのような方が教えられる科目もできれば多い方がいいとは思っているので、そのようなところが多く、広く募集はかけられて、色々な性質を持った専門の方、専門性を持った方が集まっていたけるとよろしいかと思しますので、事業者の方たちに呼びかけていただければと思います。

生涯学習課長 ありがとうございます。いただいた意見、事業者の方に伝えさせていただいて、どういう形でボランティアを集めていくかというのを今後、ますます検討してまいりたいというふうに考えてございます。

野 田 委 員 よろしくをお願いします。

青 木 委 員 ありがとうございます。非常に貴重な意見を見ているところなのですが、1点だけ伺いたいのが、ボランティアの方たちは、もちろん無償でということになるわけですが、その後、ボランティアをやっていた何か証明になるようなものというのはどこから出しているのか。

要するに、彼らはボランティアでやったということを最終的には、あとは就職のときや何かに、こういうボランティア活動をしていましたというようなことがアピールできるような題材になるといいなと思っていますが、そのようなところはお検討いただいているのでしょうか。

生涯学習課長 ボランティアさんに対する証明につきましては区としては出していないといったところでございまして、事業者の方が出しているのかどうかというのも少し確認を取らせていただきたいというふうに思っております。もし、出していないということであれば、委員からもご意見をいただきましたので、どのような形ができるのかというのを今後検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。

青 木 委 員 ぜひキャリアパスやなんかの意味で非常に重要な経験値になると思いますので、ご検討いただければと思います。ありがとうございます。

教 育 長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

高 野 委 員 今、ボランティアのお話が出たのですが、私は実際に中央図書館に見に行ったときに、ここの事業者の方が一人いらっちゃって、あと大学生のボランティアがそのときは二、三人来ていたのですね。この学プレの卒業生という方も来ていて、自分がここで色々相談したりして、自分にとってとてもいいところだったので、自分が逆に今度は教える立場になることを目標に頑張ってきたなんていうお話も伺いました。

登録制なので、利用者とボランティアとか事業者の方との関係がすごく密接で、その子にあった参考書をボランティアの方ですとか事業者の方で用意をしたりとかということが続いていて、やはり登録制で毎回利用する人が多いというところでの良さが出ていたなというふうに思いました。

私が中央図書館でお話を伺った方は、やはり他の高島平図書館の方にも行っているというような形でボランティアの方も複数ご指導いただいている、ご協力いただいているというようなお話も伺ってきました。

少し参考までに。

生涯学習課長 ありがとうございます。ボランティアさんにつきましては、学プレを卒業するときにボランティアをやりたいっておっしゃっていただく方が増えているというような状況でございまして、学びの循環も生まれているかなというふうに考えているところでございます。

また、登録制の良さというところでお話いただきまして、事業者が本を用意したりというのはあるのですが、結構ボランティアさんとかでもプリントを作ってくれたりとかということもやっておりまして、受けていただいている方から好評をいただいているというような状況でございます。

また、1か所だけじゃなくて複数箇所にボランティアさんが行っているというような状況もございますので、今後もそのような形を広げていければというふうに思っているところでございます。

教 育 長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○報告事項

2. 「板橋区子ども読書活動推進計画2030」策定におけるアンケート実施について

(図－1・中央図書館)

教 育 長 それでは、報告2に移ります。「「板橋区子ども読書活動推進計画2030」策定におけるアンケート実施について」、中央図書館長から報告願います。

中央図書館長

「図－１」の資料に基づきまして、ご説明をいたします。

「板橋区子ども読書活動推進計画２０３０」策定におけるアンケートの実施についてでございます。

１、計画の概要についてでございます。

こちらの計画なのですが、国では「子どもの読書活動の推進に関する法律」というものに基づきまして、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定しているところでございます。

これにならって、東京都でも「東京都子ども読書活動推進計画」が策定されているところになっておりまして、各自治体で計画、策定することとなっているところでございます。

板橋区では、現在第３期となる「板橋区子ども読書活動推進計画２０２５」、こちら令和３年度から７年度までの５か年の計画を策定し、各事業を行っているところでございます。これから、令和６年度、７年度にかけて第４期となる計画、「板橋区子ども読書活動推進計画２０３０」を策定したいと考えております。それに先立ちまして、区立の全小中学校へアンケートの協力の依頼をするものでございます。

２でございます。依頼の事項でございます。

アンケート調査へ協力をしていただくという形になっております。区内の全部の小中学校の対象学年児童・生徒及び保護者の方も対象にさせていただければと思っております。

（１）に対象学年。小学２年生、小学５年生、８年生ですね、中学２年生、こちらが対象の学年となっております。

こちらにつきましては、各学校長宛ての依頼をさせていただくという形になっております。

ページを送っていただきまして、２／１８ページでございます。

読書活動、子どもの読書に関するアンケートについてという依頼文が載っております。

回答の方法なのですが、保護者の方はＱＲコードを貼ったチラシの方を配付させていただきます。スマホなどで回答ができるような形で対応させていただければと思います。

児童・生徒様に関しましては、クロームブックでアンケートを回答できるように、ＵＲＬを各学校宛てにお送りするという形になっております。

こちらのアンケートなのですが、１２／１８ページです。こちらの部分が児童・生徒宛てのアンケートの項目になっております。こちらの中で、基本的には東京都の質問と同じように合わせているのですが、今回、我々の方で、いつ頃、本を読む時期があるのかであったりとか、学校の図書館をどのくらいの頻度で利用しているのか、学校以外の図書館をどのくらいの頻度で利用しているのかというところまで取りたいなと思っておりますので、こちらは東京都の方からプラスをさせていただいて、板橋区独自で取りたいと思っているものでございます。

15／18 ページ以降が保護者宛ての依頼文となっております。こちらにおいてもこれまで実施してきたアンケートにプラスをして、電子書籍の内容なども含むような形でお伺いをしたいと思っております。こちらのアンケートも区内の全小中学校児童・生徒及び保護者宛てという形になっております。

あわせて、今、調整中なのですが、他区とも比較ができるように依頼をかけようというところで調整をしているところでございます。

こちらを基に、計画策定の課題の整理、今後の必要な施策の検討ということを進めていきたいと思っております。

ご説明については以上でございます。

教 育 長 ありがとうございます。質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

長 沼 委 員 ありがとうございます。板橋区としても不読率を下げたいという取組を始めていますので、このような形で丁寧に声を拾って事業に反映されることはとてもいいなと思って聞いておりました。

1 点、少し気になるのが子どものアンケートですね。児童・生徒向けのもので、対象は小学校 2 年生が入っておりますが、このアンケート項目を見ると、多分読めない漢字があるのではないかと。これは大丈夫かなと思います。

中央図書館長 基本的には、これまで行ってきたアンケートを基に漢字の方を精査をしてきたつもりではあるのですが、こちらは回答するに当たってウェブのフォームになっておりますので、難しいものがあればルビを振る、ひらがなで開くなどの対応はこれからもできますので、もう一度、我々も後で見直しをしたいとは思っております。

長 沼 委 員 そうですね。5 年生なら大丈夫ですけど、2 年生だと、これは読めないかもしれない。

保護者と一緒に答えるならまだしも、そうじゃないと、読めないから答えないとなってしまうとマイナスなので。

高 野 委 員 私も長沼委員と全く同じです。今、ルビについてお話があったのですが、質問の内容についても検討していただきたいと思いました。

2 年生といっても 1 年生から 2 年生になったばかりの子たちなので、ここの言葉について理解できないことがたくさんあると思うのですよね。だから、一個一個もう少し、今の 2 年生がどのような状態かというところをしっかりと把握してアンケートをかけないと、期待した回答が得られないと思うのですよね。

2 年生から 8 年生だと全然違うので、同一の質問でアンケートを取るのは少し難しいかなというふうに感じました。

中央図書館長 ありがとうございます。アンケートの、まず難しい言葉が書かれているようで

したら注釈を入れるなど、そのようなところに気をつけていこうかなと思っており
ます。

確かに年齢の開きがあるので難しい部分もあるのかなとは思ってはいます。た
だ、東京都の項目に合わせて行った部分もあるのですが、なるべく分かりやすく
なるよう本を読んでよかったことは何ですかといった聞き方を教えるような形に
しておりますので、このような形で努めたいと思っております。

教 育 長 確かに、問3を見て、本、新聞、雑誌とかってよく分からないですね。これ
はやはり、少し訂正して優しくしてあげた方がいいですね。

中央図書館長 かしこまりました。例示などを入れるようにしたいと思います。

青 木 委 員 ありがとうございます。読書活動を本当に大事だと思っているのは、今、現場
に入って、実は結構、朝読書をやっておりまして、ホームルームの後、短い時間
ですが朝読書をやっている、非常にいいのは現場の先生たちも言っているの
ですが、勉強に入るモード切替ができるというのが非常に大きくて、短い時間でも
好きな本を読むことで、これから学ぶぞというスイッチを入れるのに非常にいい
という効果があるというのは現場の先生たちも言っている状況なので、ぜひこれ
を進めてもらいたいなというのが私の希望でもあります。

そのような意味では、今、お二人からご指摘があったようなところ、アンケー
トの書き方ももう少し分かりやすくとかというのも、私もぜひお願いしたいなと
思っているのと。

1点だけ、すみません。見ていて少し気がついてしまって、軽微なところなの
ですが、13／18ページなのですが、問の11に「どうなればみんながもっと
本を読むようになると思いますか」って、幾つでもという問いがあるのですが、
これの3番のところが、細かいところすみません。「学校で読書の時間を増え
る」と書いてあるのですが、「読書の時間が」とかかなと思って。少しこの文
章は修正が必要かなと思ったので。

中央図書館長 申し訳ございません。そうですね。「読書の時間を増やす」か「読書の時間が
増える」か、そのような形で文言を修正したいと思います。

朝読書の件もありがとうございます。

青 木 委 員 よろしく願いいたします。

教 育 長 2年生の部分には、もう一度作り直しという形で分かりやすさを考えましょう。
その他、いかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

教 育 長 それでは、次に、教育委員会次第にはございませんが、追加報告事項はありますでしょうか。

(なし)

教 育 長 それでは、以上をもちまして本日の教育委員会は閉会いたします。
ありがとうございました。

午前 1 0 時 3 5 分 閉会